

次回例会日
「11月3日祝日に付休会」
次々回例会日
11月10日 プログラム 未定

柴田会報委員長

第2回 クラブ協議会

★日時 昭和46年10月15日 午後6時 ★場所 例会場
★出席者 船矢健喜智会長、市川芳夫副会長、高杉重雄幹事、新善次、岩塚陽一、関本宏山本克己、山田英彦、小村修平、森秀樹、柴田量司、神原金一、青柳喜一、野村宣市、深瀬鴻一郎、宮崎英一、本間利雄会員 以上17名
船矢会長挨拶の後、各委員長により現在迄の活動状況報告並びに今後の活動計画についての説明が行なわれ、定刻を過ぎるまで活発な討議が交はされて有意義なアッセンブリーを行なった。望むならば出席人員のもっと多からむことを。次回アッセンブリーを期待しよう。

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所 函館市若松町15-7拓銀ビル9階
ロータリー合同事務所
☎ (0138) 23-3870
例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
五島軒駅前支店
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30



1971. 11. 10

第372回 例会

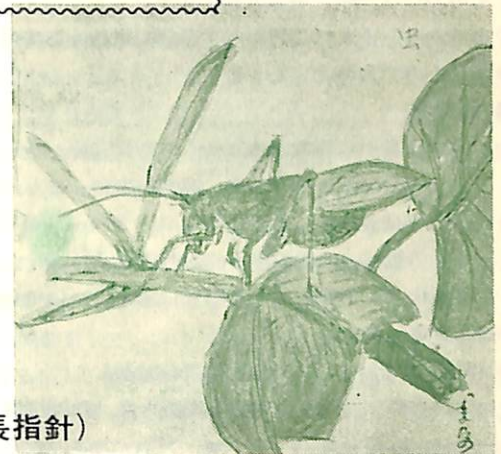
1971~1972 第17号

Good Will

Begins With You

善意は先づあなたから

(ブライトホルツ R. I. 会長指針)



侯野純夫 会員

本日のプログラム

「文化財の保護」

北海道立函館工業高等学校建築科長 川嶋 龍司氏

第370回 例会 記録

- | | | | |
|----------|------------|---------------|------------|
| ◎司 会 | 船矢健喜智会長 | ◎斉 唱 | それでこそロータリー |
| ◎ゲ ス ト | 第351地区ガバナー | 富田 恭氏 | |
| | 第351地区 幹事 | 森岡 勝氏 | |
| ◎ビ ジ タ ー | 大阪天満橋R.C. | 松本 政雄君 (昆布販売) | |
| | 洞 爺 湖R.C. | 菅谷 敬三君 (喫茶店) | |
| | 函 館R.C. | 斉藤 正則君外8名 | |
| | 函 館 東R.C. | 柴田 英正君外7名 | |
| | 函 館 五R.C. | 松浦 百秋君外4名 | |

◎会長 報告

この例会に先立ちまして、会長・幹事会及びアッセンブリーを行ないました。

アッセンブリーの内容につきましては、後ほど会報及び各委員長さんより明細が伝達されると思います。只その中で一言二言だけお伝えしておきます。まず賞められた点と云いますと、出席委員会の出席率についてでございます。それと反対に会員の増強につきましては出席率ほど思わしくないと云う事です。当クラブは亀田クラブを何とか生んで欲しいと、そのためには亀田クラブを産む程たくさん会員を増強してほしいと、そしてその為には一時、職業分類上10%ルールを越える事があってもそれは止む得ない方便であるから、それにこだわらず会員の増強をしてほしいと云うガバナーの強い要請がありましたのでお伝えいたします。

◎幹事報告

- 1) 只今会長から報告がありました様に、ガバナーを囲んでの第3回クラブアッセンブリーが行なわれました。23名出席致しました。
- 2) 地区委員会編集による地区レポートページが10月より載せられています。来年5月号の投稿の依頼が参っております。
- 3) 札幌R.C. 小樽R.C. の例会日変更について連絡が来ております。

◎ニコニコボックス

- 1) 富田ガバナー : 公式訪問を記念して
- 2) 山内会員 : 労働管理優秀賞、熱管理優秀賞受賞記念
- 3) 藤林、広瀬会員 : アッセンブリー欠席のおわびとして

◎親睦委員会

本日例会終了後クリスマス家族会についての打合せを致しますので親睦委員の方はお残り下さい。

◎プログラム委員長

本日の会報に11月10日プログラム未定と書いてありますが、決定しましたので申し上げます。演題は「文化財の保護」でございます。

◎富田第351地区ガバナー挨拶

本日は、ガバナーとして当クラブを訪問致し、皆様と共にロータリーを語り、又友情を深める機会を持ち得ました事は、真に感激に耐へない事でございます。去る9月の地区大会には、皆様の御協力に依り、色々なハプニングがございましたが、成功裡に大会が終了しました事は偏に皆様の御協力に依るものと深く感謝している次第でございます。ベギー葉山が来なかったり、或は懇親会場が急に変更になったとか、いろいろな事があつたにもかかわらず無事終了致しました。

この地区大会を我々が成功させるかどうかという事は、ガバナーとしては非常に重大な責任であるのでございます。この責任を大過なく過ぎ得たという事は、ガバナーとして重大な責任の大半を終ったという事にもなるのでございます。そういう意味において深く感謝申し上げる次第でございます。

次に、国際大会は皆様既に御承知の通り来年6月の11日から15日にわたりまして、ヒューストンにおいて、ビーヒックマンという方が会長で開催される事になっているのでございますが、どうか皆様には多数国際大会に御出席なられて国際的な雰囲気味わうと共に国際親善の理解に、御貢献あるならば幸と存じます。どうか今から御準備をなされて多数御出席する様クラブにおいてお取りはからい下さる様に、お願いする次第でございます。

従いまして来年度の地区協議会は、6月24日から25日に決定致している次第でございます。これは苫小牧のロータリークラブがホストクラブとなっております。これには出席義務者が、昨年より1名増えまして、9名出席する事になっておりまして2日間に渡って行なわれるのでございます。どうかその場合には、出席義務者とその他の方々も多数御出席されて大いに勉強して頂きたいという事をお願いする次第でございます。

来年の地区大会は、既に札幌西ロータリークラブがホストとなって開催されるという事は、皆様すでに大会において御承知の事と思っておりますがその日程は、9月23日・24日に開かれるという事で決定になっております。この事も御報告申し上げます。

次に昨日は、会長幹事の会談に引き続きまして、クラブアッセンブリーを行なったのでありますが、アッセンブリーが始まる前に、遠藤先生から機先を制されまして、当クラブが不行届きの点とか悪い点があつても、それはお前が当クラブを作った特別代表なのだから悪い責任は全部お前にあるんだと、だからどうあろうとも、これは俺達の責任ではないんだと、一喝されまして機先を制されたのでございます。が、しかし子を思う親心というものは、決してそういうものではなくて躰というものは厳しくあるのが当然であろうという気持ちでございます。かなり厳正な気持ちで、各委員会の活動計画を拝聴した訳でございます。既に当クラブも5周年を経まして立派に成長する事ができました。

今日までのアッセンブリーについての結果を拝見致しますと、地区大会の為に皆様寝食を忘れて色々とお力くださったという事で、クラブ活動にまでは手が回らなかったという様な事で計画はまだ充分に実施されていないという点もあると思われまふ。恐らくこれからは、各委員会とも活発な活動が行なわれる事を期待している次第でございます。船矢会長は、本年度の方針となりましたブライツホルツ会長の方針に対しまして、各委員会の間のバランスが崩れる事がない様に注意しながら、実情に応じて方針を立てて活発な活動をして頂くという事を要望しておりますし、クラブ奉仕担当の市川委員長は、各委員会の横の連絡を密にして仕事の内容と幅を広げてゆき、3ヶ月毎に各委員会の委員長さんを集め、その報告を受けるという積極的、意欲的活動状況を見せている訳でございます。

そうした意図に沿って、各委員会は活発に活動をしようとしておりますし、クラブ活動のパロメーターともいふべき出席率は、毎月向上し、9月は100%を見るに致り、先程会長が申されました様に、最も称賛されるだろうと期待した通り誠に称賛すべき成績

だと思ふ次第でございます。職業分類も当クラブの地区からは、地区職業分類諮問委員会の1人として遠藤先生が出ておりますが、過日諮問委員長に於て、北海道の職業分類の在り方という様な事について、御審議がございましたが、その結果について神原委員長以下委員会の皆様が指導を受けまして立派な分類表を作られました。そして今までは英語読みのアルファベット順でございましたけれども日本語読みのアルファベット順にした方が良いという点も取り入れられて誠に漸新な職業分類表が作られた訳でございます

この職業分類表は、会員増強の基礎ともなるべきものでございます。これは度々検討されましてその基礎を充実して頂きたいと思うのでございます。

親睦委員長の深瀬先生は、内部エネルギーを結集して型にとらわれず、心の通った親睦の成果を上げようという事で、麻雀とか或は家族会に非常にその実績を上げられているという様な御報告がございました。会員増強委員会は、5人1組という事で会員増強に努力されております。本年度は10%以上の増強を目指して努力している意欲は見られるのでありますが、然し乍ら、昨年度の成績を見ますと、7名入会して8名退会しておりまして、マイナス1名でございます。その後4ヶ月たった現在、1名も増えていないという事は、やや会員増強の点については全員の協力が足りないのではないかと非常に心細さを感じるのでございます。会員の入退会の状態をみますと、10数名の入会者を期待しなければ歩止まり10%という事は仲々難しいのでございます。ことに新クラブ結成という様な重大問題を持ってあります当クラブと致しましては、余程御尽力をくだされなければならぬと思うのでございます。新クラブ結成については、私がお話ししようと思っておりましたところが、遠藤先生から我々は新クラブ結成しなければならないという事は分っているのだから、いつがパナーからその話があるかと思つて期待して待っていたんだと言わんばかりにお話下さいまして、私も非常に喜んでる次第でございます

新クラブ結成につきましては、合同会長幹事会がございまして、その席上において色々御検討下さいまして、スポンサークラブというものを決めて頂いて、そして早速準備に取りかかつて頂きたいと考えている次第でございます。俣野先生も特別代表としてお引き受け下さる様なお話もございました様で、心強く思つている次第でございます

現在の世界の状況をみますと、皆様御承知の様に70万4千5百という数でございますが、1クラブ平均の増加率というのは、僅かに0.5名でございます。これではロータリーの繁栄というものは仲々期待し難い訳でございます。又プログラム委員会も、会員の興味あるプログラムを作るということに苦心されて、特に3分間広場という様なものを計画されている事が非常に面白いアイデアではないかと考えております。

国際奉仕について本年度は、G.S.E. が来訪されまして、皆様のお陰で非常に多くの収穫を得て、帰っていかれた様でございます。

交換学生につきましては、本年1日からオーストラリアよりここに参る事になっております。日本からも寺井さんという方が行かれる事になっておりますが、あるクラブか

らはこの交換学生というものが日本から行く場合は勉強して非常な効果を挙げて帰ってくるのでありますが、向こうから来た者が果してどの程度の効果を挙げていくのであろうかと。日本をもっと勉強してきてもらう事が必要なのではないかと、ぜひその事を向こうに伝え聞かせてもらいたいという様な希望がでておりますが、本当にそうあるべきだと思つて今後の交換学生についてはある程度日本を理解している者と呼ばひ、こちらへ来て、日本語で何か勉強ができるという事がやはり大事な事であると思つてございまして。そうでなければ、文化の交流ということまではいかないという点について相当考慮すべき問題ではないかと考えられる訳でございます。又昨日俣野ロータリー財団委員長さんからは、ロータリー財団へのより一層の協力をクラブとしても実施するという様なお話がありましたばかりでなく、先生自らが善意はまず勧誘で始めようという事をモットーと致しまして、為替レートが今後は335円になって、今まで待っていた甲斐があるという事でございまして、今度はポールハリス賞に協力するという様な御発言もございました。先づ北クラブの先鞭をつけられるという様な事で非常に大きな善意であろうと期待するものでございます。皆様はこのロータリー財団については、ロータリー財団週間というものが近くございましてそれについては俣野先生から詳しいお話しを伺つて頂きたいと思つてございまして。すでに申し上げております様に、精薄施設とか或は、肢体不自由児の施設とか、そういうところで教鞭をとっておられる教師にも、一年間の留学が認められる事になったということでございます。351地区は、ロータリー財団に対して1人平均6ドル以上になりましたので、1971年から1974年において、大体3人の留學生が認められる事になっております。このロータリー財団は、御承知のG.S.E. もこのロータリー財団から、補助を受けてきている訳でございます。1971年から1972年度におけるその大学院学生の今日まで使われている費用が大体どの位かと申しますと、大学院とか或は研究グループとか或は、専門訓練生とか大学生奨学金とか、或はその他の補助金については、12,191,762ドルというものが今日まで使われている訳でございます。そして今日までに大体5千人位の方がそういうロータリー財団の補助を受けている訳でございます。現在、日本において受けられている者は大体81名位でございますが、日本から派遣されている者は181名でございます。この様にロータリー財団は、国際的理解と親善の為に次代を担う若い人達の為に使われている費用でございます。こうしたロータリー財団への寄附は最も大きな我々の奉仕事業の一つではないかと思つてございまして。以上をもちまして私の公式訪問の御挨拶と致します。

◎出席報告

	会員数	出席人数	欠席人数	他クラブ出席人数	出席率(%)
46. 10. 27	45名	34名	11名		
46. 10. 20	45名	33名	12名	12名	100%
在函クラブ	(10/14)	(10/19)	(10/15)		
	函館R.C. 87.80%	函館東R.C. 97.67%	函館五稜郭R.C. 100%		

次回例会日 11月17日
プログラム「未 定」

(広瀬会報委員)

第3回 クラブ協議会

★日時 昭和46年10月26日(火)午後6時

★場所 五島軒本店 ★斉唱 それでこそロータリー

★出席者 富田恭地区ガバナー・船矢健喜智会長・市川芳夫副会長・高杉重雄幹事・
俣野純夫・神原金一・酒井正勝・深瀬鴻一郎・本間隆・柴田量司・遠藤尚義・
平野義勝・青柳喜一・関本宏・森秀樹・角谷隆一・駒井幸一・山内文雄・
野村宜一・布目寛治・戸栗力・岩塚陽一・大井安麿会員 以上23名

●船矢健喜智会長挨拶 : 富田ガバナーの御奉仕には心より感謝申し上げる。本夕はガバナーよりアドバイスをいただきながら、協議会を進めたい。各委員長はそれぞれの委員会の活動状況並びに活動計画を報告していただきたい。なおガバナーの方針として将来亀田市にクラブを誕生させたいとの意向であり、特別代表として俣野会員に内諾を得て居るとの事であります。従って当クラブとしても会員増強を意欲的に行なってほしいとの事である。更にロータリー財団に対する協力を更に強力にしてほしいとの要望であった。

●富田ガバナー挨拶 : 当北クラブは私が特別代表となって創立したクラブである。クラブの良し悪しは特別代表のせいであると釘をさされた。しかし文句を云うのも亦境心というものである。只今会長よりお話しがあった様な事を要望したい。

●各委員長報告 : 市川クラブ奉仕委員長、酒井出席副委員長、神原職業分類委員長、深瀬親睦活動委員長、平野雑誌委員、布目会員増強副委員長、青柳プログラム委員長、柴田会報委員長、駒井ロータリー情報委員長、杉本S.A.A.委員長、青柳社会奉仕委員長、野村職業奉仕委員長、遠藤国際奉仕委員長、俣野ロータリー財団委員長より夫々委員会の活動状況及び活動計画について報告があり、ガバナーより貴重なアドバイスを戴いた。特に出席委員会に対しては、今後も100%の好成績を続ける様要望され、職業分類委員会に対しては、現在の分類が必要以外と思われるものは整理しても良いのではないかとアドバイスされた。又会員増強委員会に対しては質も量も大切であるが、量は力なりという事もあり、50~60名迄増強してほしいと要望された。活発な協議が行なわれ、定刻をオーバーして閉会し、明日の公式訪問を心強く期待した。(柴田会報委員長)

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

事務所
函館市若松町15-7拓銀ビル9階
ロータリー合同事務所
電. (0138) 23-5370



例会場 函館市若松町拓銀ビル7階
五島軒駅前支店
例会日 毎週水曜日 12:30-13:30

1971. 11. 17

第373回 例会

1971~1972 第18号

Good Will

Begins With You

善意は先ずあなたから

(ブライトホルツ R. I. 会長指針)



俣野純夫会員

本日のプログラム

交換研究員の消息!!

外山 定男会員 俣野 純夫会員

第372回 例会記録

- 司 会 船矢健喜智会長 ●斉 唱 君が代 奉仕の理想
- ゲ ス ト 北海道立函館工業高等学校建築科長 川嶋龍司氏
- ピ ジ タ ー 東京東R.C. 深井 昌司君 (建設業)
- 網 走R.C. 米村 男衛君 (シニア)
- 函 館R.C. 若山徳次郎君 外9名
- 函館東R.C. 森岡 勝君 外4名
- 函館(五)R.C. 横田 豊雄君 外5名